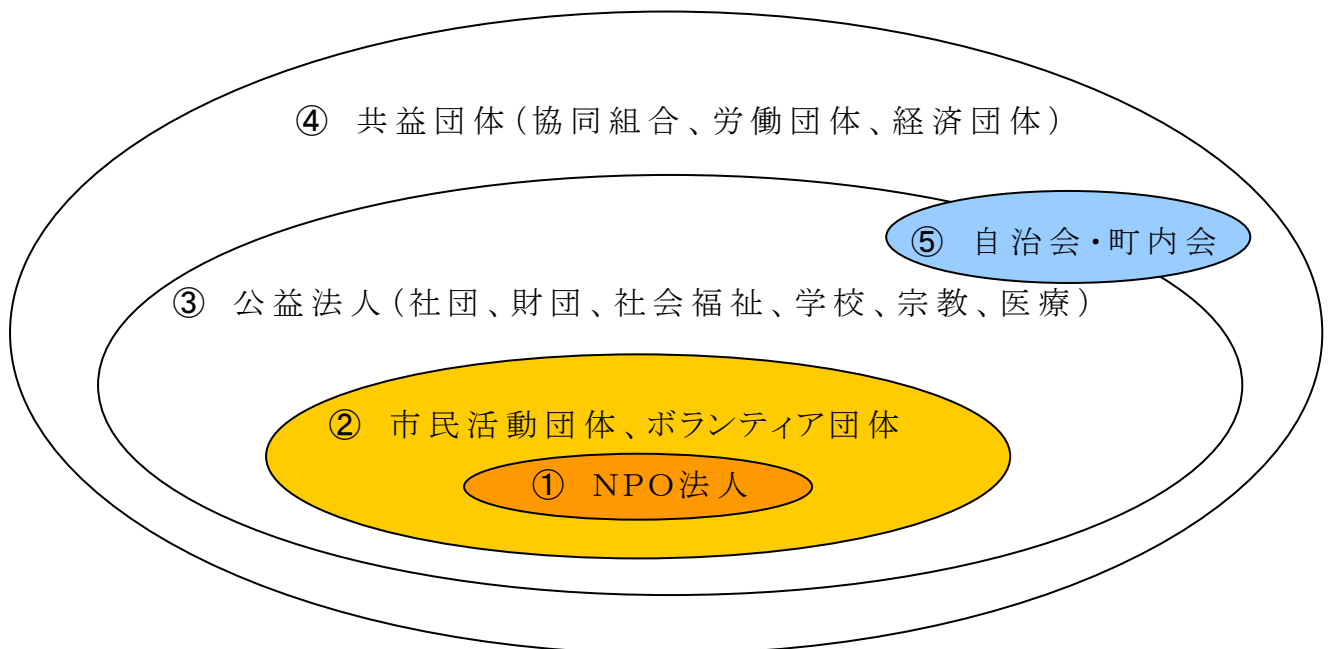


住民協働を共に進めるパートナー

1 住民協働のパートナー

市民が自発的、主体的に行うボランティア活動を始めとした社会貢献活動は、地域社会あるいは地域を越えた様々な課題の解決に向けて、福祉や子どもの健全育成、まちづくり、社会教育、文化・芸術・スポーツ、環境保全、国際協力、人権・平和、男女共同参画社会の形成など、様々な分野で年々活発になっています。



① 狭義のNPO:NPO法人(特定非営利活動促進法の認証)

② 一般的なNPO:上記①+市民活動団体、ボランティア団体

③ 広義のNPO(アメリカにおけるNPOの範囲):上記②+公益法人(社団、財団、社会福祉、学校、宗教、医療)

④ 最広義のNPO:上記③+共益団体(協同組合、労働団体、経済団体)

⑤ 地縁組織である自治会・町内会

2 NPOとは

(1) NPOの定義

市民が主体となって継続的、自発的に社会貢献活動を行う、営利を目的としない（利益を構成員に分配しない）団体で、特定非営利活動法人（NPO法人）、市民活動団体やボランティア団体などの任意団体のことをいいます。

NPOとは、「Non-Profit Organization（非営利組織）」又は「Not-for-Profit Organization（利益を目的としない組織）」の頭文字を略した言葉で、一般に「民間非営利組織」と訳されています。

「非営利」という意味は、無償で活動を行うということではありません。企業では、利益が出ると株主等に分配が行われますが、NPOは利益（収入から経費を差し引いた利益）が出ても構成員（役員や会員など）に分配しないで、本来の社会貢献活動に充てていくという原則で成り立っています。

これが「非営利」の意味で、NPOが団体として利益を上げてはいけないということではありません。組織を維持し、活動を継続・拡大していくために、サービスの提供などによって利益を上げているNPOは少なくありません。

～ N P O の 6 つ の 要 件 ～

非営利組織がすべてNPOということではありません。一般にNPOは次に掲げる6つの要件を備えるものとされています。

公益性...公益(=不特定多数の利益)に寄与する組織であること。

形式性...会則、代表者などを持つ、公式な組織であること。

非政府性...制度的に政府から独立している民間の組織であること。

非営利性...利潤追求を目的としないこと。利益を配分しないこと。

自己統治性...自分たちの活動を自主的に管理できる能力を備えていること。

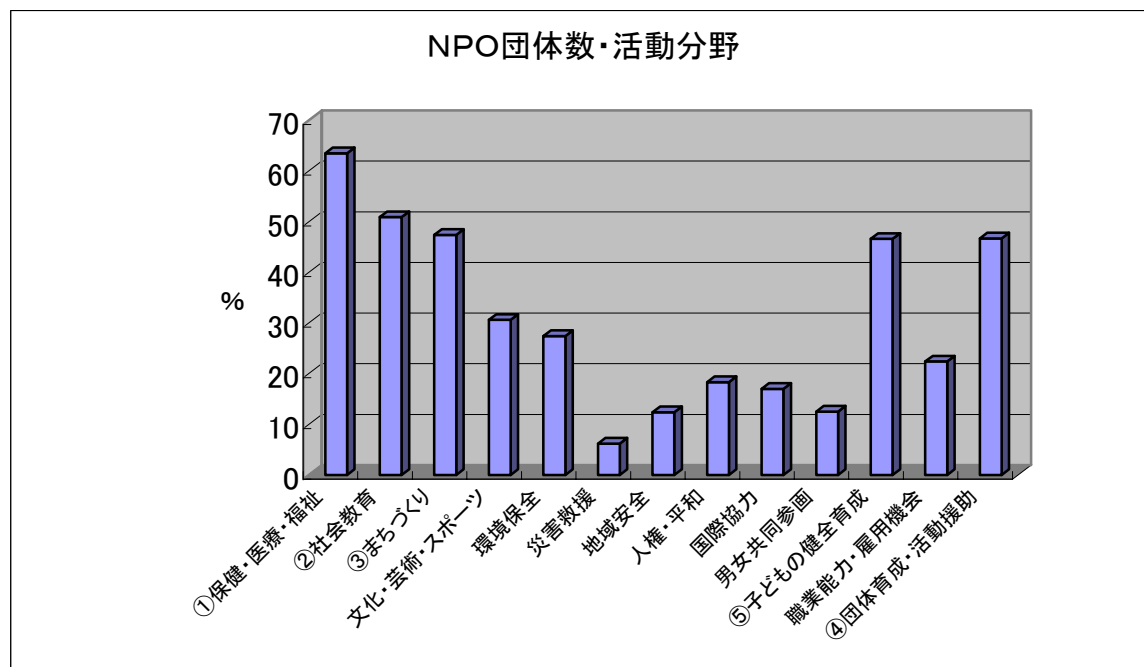
自発性...自発的な要素を持っていること。

広義のNPO(太枠内が一般的にいうNPO)

法 人	任 意 団 体
特定非営利活動法人(NPO法人)	市民活動団体、ボランティア団体
社団法人、財団法人、学校法人、社会福祉法人、医療法人、宗教法人等	
認可地縁団体	自治会 町内会
協同組合、労働組合等	同窓会、同好会、業界団体等

(2) NPOの団体数・活動分野

県内のNPO法人（埼玉県知事認証）は、1,097団体（平成19年7月末日現在）で、その活動分野は次のとおりです。



また、市民活動団体やボランティア団体などの任意団体を含めた場合、県内には約3,000団体のNPOが存在するといわれています。

(3) NPO活動の特性・意義

NPO活動は、地域社会あるいは地域を越えた様々な課題を解決していく社会的使命に基づき、市民が自発的、主体的に行う社会貢献活動であるところに、最も基本的で重要な特性があります。

その活動は、社会的課題の多様性・複雑性に対応して、極めて幅広い分野で多様な取組が行われています。身近な生活問題に取り組むNPOもあれば、国境を越えた海外の課題に取り組むNPOもあり、福祉や文化、環境といった行政の各分野の枠を越えて横断的に活動を行うNPOも増えています。

また、行政の区域にとらわれることなく、複数の市町村や都道府県にまたがって活動するNPOも少なくありません。

組織形態から見ても、人的・財政的に小規模な団体から事務所を構えて常勤職員を抱えるような比較的大きな団体まで多種・多様な形態があります。

さらに、公平性や平等性を原則とする行政とは異なる、民間団体の持つ自由さや融通性などの特性を生かして、個別的で多様なサービスの提供や新たな課題に対する創造的で先駆的な取組、社会の変化への柔軟で機敏な対応、現場を踏まえた専門的なかかわりなどがその特徴として見られます。また、市民の声を集約した問題提起や政策提言なども行われています。

このようなことから、NPOは様々な社会的課題を解決していく主体として、また、「公共」の新たな担い手として、行政や企業と共に社会を支える重要なセクターとしての役割を果たしていくことが期待されています。

(4) NPO活動の役割

ア 市民の自発的な社会参加の機会拡大

NPO活動に加わることによって、市民それぞれの問題意識や関心などに基づき、一人一人の個性や能力を発揮して、自発的、主体的な社会参加の機会が得られます。

また、地域社会の中に様々なNPOが存在することによって、多様な社会参加の機会が提供されることとなります。

イ 公共サービスの供給主体、「公共」の新たな担い手

NPOによって様々な社会貢献活動や公共サービスの提供が行われていますが、その活動には、個別性、多様性、即応性、創造性、先駆性、専門性などの特徴が見られます。

また、市民の自発性によってサービスが提供されることやNPO活動への参加者がサービスを提供する側にも受ける側にもなりうるといった面でも大きな特徴を持っています。

さらに、地域の課題や市民の声を踏まえた政策提言や問題提起を行うNPOも増えてきています。

また、社会的課題や市民のニーズに機敏に対応し、きめ細かな公共サービスを供給する主体として、その役割が高まっています。

ウ 市民が主体となった地域社会の形成

NPO活動が地域社会の中で、多くの市民の理解と関心を得ながら展開されていくことによって、NPO活動そのものが成熟していくとともに、広く市民の間に地域の課題解決に主体的に取り組んでいこうとする「自治」の意識が高まり、正に市民が主体となった地域社会の形成が図られます。

エ 市民のネットワーク化と地域社会の活性化

NPO活動は、個々の市民の自発的・主体的な社会参加の結び付きによって、信頼に基づいた協力関係を築き上げ、資金や知識、技能、情報など様々な社会資源を有機的に活用して活動が展開されています。

このため、個々の市民のネットワーク化が促進されるとともに、こうしたNPO活動が地域社会の中で行政や企業などと協調・連携しながら展開されていくことによって、地域社会そのものが活性化し、多様な魅力と豊かさを創出していくことにつながります。

さらには、NPOの活動基盤が安定・向上することによって、活動やサービスが拡大するとともに、NPOへの雇用機会が生じてくることから、草の根的に地域経済の活性化が図られることとなります。